

第 57 回

樹脂製の折りたたみ式踏み台での 指挟みに注意

相談事例

乳児が折りたたみ式踏み台につかまり立ちしていたところ、指の先端を切断した。商品に問題がないか調べてほしい。
(0歳10カ月・男児)

折りたたみ式踏み台(写真1)は、主にプラスチックなどで製造されているため軽く、折りたんで狭い隙間に収納できます。開く時や、折りたたむ時にできる天板と脚部、板同士の接続部(ヒンジ)の隙間に、乳幼児の手指が挟まり指先を切断した事故も起きています。そこで、10銘柄をテスト対象として選び、構造や手指を挟む可能性などを調べました。

●テスト結果をもとにしたアドバイス

開いて使用できる(上に乗ることができる)状態の天板をたたむために引き上げるのに必要な力を荷重計で調べたところ、乳幼児の力でも容易に天板を引き上げることができ、天板と脚部の隙間を広げる可能性があります。

次に、隙間に、直径5mmと12mm(6カ月児と6歳児の手指の太さに相当)のプローブ(検査器具)を挿入してみると、開く時も、折りたたむ時も、乳幼児の手指が挟み込まれるおそれのある隙間がありました(写真2)。

1歳児相当の身体サイズのダミー人形を用いて、天板付近につかまり立ちをした時の姿勢や手指の位置を調べると、折りたたみ式踏み台の高さが低いほど上から体重をかけるような姿勢になりました。隙間に実際の人体(成人)に相当する指ダミー(直径約16mm)を挟んだ状態で、天板に乳幼児の力や体重程度の負荷をかける

と、指ダミーが裂けて、大人でも裂傷を負う可能性があります。と、指ダミーが裂けて、大人でも裂傷を負う可能性があります。

10銘柄の使用上の注意表示を調べると、手指等の身体を挟んでけがをする危険性について注意表示をしたものはありませんでした。

乳幼児がいる家庭で踏み台を入手する場合は、可動部分のない、一体構造や組立式の商品を選ぶことを検討しましょう。

大人でも、隙間に手指を挟み込んだ場合、けがをする危険性があるので、使用の際は注意しましょう。

乳幼児が折りたたみ式踏み台に触れないように管理や保管をして、事故を防ぎましょう。

写真1 折りたたみ式踏み台の外観

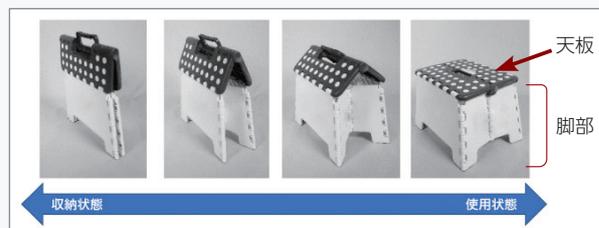
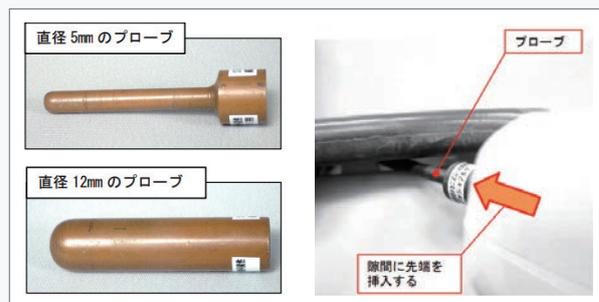


写真2 手指を挟み込む可能性の調査



参考：国民生活センター「樹脂製の折りたたみ式踏み台での指挟みに注意－乳幼児が手指の先を切断する事故が発生しています－」(2022年10月5日公表) https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20221005_1.html